



2018年5月発行



望

～ぼう～

18号

新年度のご挨拶

桜の花言葉は「精神的な美・独立」なのだから。「桜の花のように、凛々しく気高くありたい」と気持ちを引き締めながら、私のウィツシュ生活四年目はスタートを切りました。通勤途中の車窓越しに見える小学生のランドセルはとてもカラフルで、思わず心がウキウキしてきます。そんな中、ウィツシュは、今年4名の新スタッフを迎え、職場の雰囲気も若返り、活気づいてきたような気がします。

私は、今まで出会った多くの発達特性がある皆さんに育てられ、多くのことを学ばせていただいたからこそ、研修会のテーマに「**みんなちがうから おもしろい。十人十色それぞれの 自分色**」というタイトルをよく使用します。乳幼児期・学童期のみならず、成人期も、地域が発達障がいに関する多くの支援を用意し、「優しい街」であり続けられるよう、発達障がいへの啓発や福祉が広がっていくことを願っています。

発達障がいのある人々が、より充実・安心した自立生活、地域生活を送ることができるよう、地域の関係機関の皆様と共にありたいと思います。今年度も「相談したい、行ってみたい聞いてみたい」と思えるセンターを目指していきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

センター長 石橋 美恵子

○研 修 会 の 案 内

発達障がい基礎講座

日時 5月20日(日) 9:30～16:45
 場所 朱鷺会館
 内容 乳幼児期 石井尚吾氏(いしいクリニック院長)
 学 齢 期 佐藤朋子氏(スクールカウンセラー)
 成 人 期 土井根かをり氏(主任障害者職業カウンセラー)

発達障がい支援者研修

日時 7月8日(日)
 場所 奥出雲町カルチャープラザ仁多
 講師 川崎医療福祉大学
 准教授 諏訪利明 氏

親の会の活動

平成30年度

4月	5月	6月
4日(木) 自閉症協会出雲支部 場所: 療育センター燦々 時間: 10:00～12:00	10日(木) 自閉症協会雲南支部 場所: つつじホール 時間: 10:30～13:00	7日(木) 自閉症協会出雲支部 場所: 療育センター燦々 時間: 10:00～13:00
19日(木) 自閉症協会松江支部 場所: 総合福祉センター 時間: 10:00～12:00	16日(水) 自閉症協会松江支部 場所: 総合福祉センター 時間: 10:00～12:00 13日(日) まま茶会【陽だまりの会】 場所: いきいきプラザ 時間: 14:00～16:00	20日(水) 自閉症協会松江支部 場所: 総合福祉センター 時間: 10:00～12:00 28日(木) こたばを育てる親の会(ひだまりの会) 場所: 松江三中 時間: 14:00～16:00

A cute white rabbit with pink cheeks and a smiling mouth is holding a yellow basket filled with pink flowers. To its left is a small yellow gift box with a blue ribbon. The background is white with several small pink stars.

*医師が必要と判断した時は発達障害の専門的な検査を行うことができ、そのため、当日の医師との相談には臨床心理士が同席させていただきます（詳細はお問い合わせください）。

月	日	担 当 医 師	場 所	時 間
5 月	15 日 (火)	医療法人青葉会松江青葉病院 藤本晶彦先生(精神科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	17 日 (木)	いしいクリニック 石井尚吾先生(小児科)	《雲南会場》 雲南市役所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	30 日 (木)	島根大学付属病院 松田泰行先生(精神科)	《雲南会場》 雲南市役所	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
6 月	8 日 (金)	島根大学付属病院 長谷川有紀先生(小児科)	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	15 日 (金)	鳥取大学付属病院 兼子幸一先生(精神科)	《安来会場》 中央交流センター	① 14:00～15:00 ③ 15:30～16:30
	20 日 (水)	いしいクリニック 石井尚吾先生(小児科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	25/26 (月火)	島根大学付属病院 小池昌弘先生(精神科)	《隠岐会場》 調整中	調整中

～新任職員の紹介～



相談スタッフ 上田 順子



心理スタッフ 水 志



相談スタッフ 高田 聖亜

退職者 **門脇** **史佳**

私の物語 ～小学生編～

私が学生生活についていけなくなったのは小学校 3 年生の時からです。原因はいじめでしたが、いじめられた理由を考えると、私の他の児童と比べて“違うところ”を思い出します。

私は、子どものころは靴下が苦手で履いていませんでした。そのころは、どういう訳か半ズボンに白い靴下というスタイルになると気分が悪く感じられました。また、図画工作や音楽がとても苦手でした。ピアノやリコーダーも結局最後まで覚えることができませんでした。美術と音楽には今でも若干トラウマがあります。

同級生は私の教科書を別の児童の引出しに入れたり、叩いたり蹴ったりしていじめました。そして小学校 3 年の 2 学期から不登校になりました。私はそれから人に対して強い恐怖心を感じ、同級生どころか家の近所の人まで避けるようになりました。学校があることの不安から昼夜逆転の生活を送るようになっていきました。そして小学校 5 年生の時にいいクリニックに受診し高機能自閉症の診断を受けました。

人を避けようとする性格や他の児童に会わないように学校に行く等のこだわりを持っていたことが診断材料になりました。

それでも、学校に行けなくなったわけではありませんでした。今は、存在しているかわかりませんが、当時学校にはプレイルームという遊戯室があり、休み時間に児童がボードゲームなどを楽しむ部屋がありました。そこにはスクールカウンセラーの方がおられて、私は他の児童がいない時間にプレイルームでカウンセラーの方に付き添ってもらい、勉強したり遊んだりしました。卒業するまでの 3 年半の間に 4 人のカウンセラーにお世話になりました。辛抱強く私を見守ってくださり、学校に居場所を作ってくださいました。一緒にクレープやスライムを作ったことを思い出します。そして、両親は私を毎日送り迎えしてくれました。学校にいけない日や行ったとしても数時間で帰ってしまうことも沢山ありましたが、少しでも学校に行けるように努力をしてくれました。スクールカウンセラーの方や両親の努力には今も感謝をしています。

- 次回は石倉さんの中学時代のエピソードについて紹介していただこうと思っています。支援学級の担任の先生に協力してもらい集中して勉強が出来るようになったこと等…。(川上)

＊発行元＊

「島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ」

TEL 050-3387-8699/FAX 050-3730-9745

〒699-0822 出雲市神西沖町 2534-2 (さざなみ学園内)

E-mail:wish@sazanami-g.jp 担当者：高田 編集長：川上